

知 っ

見て！

語る

# 香和学区の魅力★再発見

ねらい

・昨年度のワークショップで「こんなことができたならもっと素敵なまちになる」をテーマに話し合った際に出された意見を参考に、自分たちが実際に活動できることがあるかを考える。  
香和学区の魅力を皆で語りあうことで知り合いを増やし、地域の人どうしのつながりを深める。



効果

昨年度の意見を参考にして今後の自分たちの取り組みについて考えた結果、「おせっかいおばちゃん」や、「誰かの役に立ちたい、という意欲のある元気な人たちが活躍する場が欲しい、という意見が出た。そこで、人材バンクのような登録ボランティア制度を作ること、そのような人たちが自分の特技や技術を生かして誰かの役に立つことができるようなしくみを作ることにした。

# 実践報告

## 笠岡東公民館

### 教養講座

#### ◆ねらい

公民館管内に笠岡の1/5の人口が居住している。住民の移動も多いため、転入者が多くまた若い世代も増えているが郷土に対する意識も薄く、地域のつながりも希薄化している。

住民が地域の歴史を知る機会をもつことで、自分たちの住む町に関心をもったり、さらには郷土愛を深めてもらうきっかけとなることを目的としています。

#### ◆活動の様子



#### ◆効果（参加者の声等）

- ・実際住んでいるが、身近にこんな史蹟があったことや、笠岡の歴史など今まであまり関心がなかったことを知れるよい機会になりました。
- ・誘われてきてみたが、講座を聞いてみるとなかなかおもしろい。また参加してみたい。

#### ◆課題

回を重ねてきて、参加者が固定化してきている。より多くの人に興味をもってもらったり、若い世代にもふるさとの特色など知ってもらい、愛着を持ってもらいたい。学ぶだけでなく、「ふるさと探訪」「応神山登山」など企画して実際に見たり、触れたりしながら地域交流の良い場となるよう工夫していきたい。

# 実績報告書 唐松公民館

## 地域めぐりウォークラリー

### ◆ねらい 地域の再発見！

この地区は、小学校統合により子ども達自分の住んでいる地域のことを知る機会が、少なくなりました。また、地域の方々とのつながりも薄くなりがちです。楽しんで地域のことを知ることができ、住民の方々ともコミュニケーションがとれる方法として、ウォークラリーを実施しました。

### ◆活動の様子



「この問題、わからんなあー」  
「アッ！看板があるで」  
「何かヒントになること、書いてあるかもしれんな」  
「読んでえー」



「えーっと・・・答えは③でいい  
と思うよ！」  
「うん」



### ◆効果

指示書どおり、唐松地域7カ所のチェックポイントを歩いて回り、各ポイントの問題に挑戦！チームで相談しながら解答用紙に記入し、問題得点と設定時間との合計得点を競いました。

「地域のことが少しわかったよ」

「また、来年も参加したいです」